

# 第一の重点 ～電力システムの改革

## 改革の方向性

### 分散型電源の拡大

多様な供給主体(自家発、再生可能エネルギー)による電力事業への参入を促進する。

### スマートメーターと料金

スマートメーターを今後5年以内に総需要の8割に導入するとともに、需要家による主体的なピークカット、省エネを進めるインセンティブとなる料金メニューを設定する。

### 卸市場の活性化

卸市場の活性化による調達の多様化、コスト低減を進める。

## 規制・制度改革によって対応

【例1】自家発の故障時に備えた「自家発補給契約」の負担の実質的引き下げ

【例2】発電と需要の「同時同量ルール」に基づくインバランス料金の引き下げ

【例3】電力会社の系統の活用

⇒自家発、再生可能エネルギーによる電力事業への参入拡大

【例1】柔軟な料金メニューの設定による需要家に対するピークカット・省エネ誘因強化

【例2】5年間の集中導入プランに対応したスマートメーターの導入加速化のための制度的枠組みの整備

⇒スマートメーターの普及と多様な料金メニューによる需要家による主体的なピークカット、省エネの実施

【例】卸・IPPの発電余力の活用  
⇒夜間余剰電力等の活用等によるコスト低減

# 第二の重点 ～再生可能エネルギーの導入加速

## 現状と課題

### 系統制約

再生可能エネルギーの導入拡大による系統への負荷の増加

系統の調整力不足のため、再生可能エネルギーの**連系量に制約**

### 立地規制

様々な立地規制が存在（農地、森林、自然公園など）

**立地に厳しい制約**が課されていたり、どんな要件をクリアすれば立地が認められるのかが不明確な場合あり

### 保安・安全規制

技術進歩や新製品の登場による安全性等の高まり

保安・安全規制が**新技術・新製品に対応していない**おそれ

## 規制・制度改革によって対応

【例1】送電における広域的運用の実施

- ・隣接する一般電気事業者の調整力を活用

⇒風力発電等の導入量を拡大

【例2】再生可能エネルギーの優先接続・優先給電ルールの整備

- ・再生可能エネルギー電気買取法に基づく接続ルールの整備・公表。
- ・一般電気事業者による接続の可否に係る説明責任に係るルール策定。

⇒公正・中立なルールの確立

【例1】自然公園法に基づく立地規制の許可要件の明確化等（地熱発電）

- ・公園内の地熱発電を6か所に限定する通知を廃止、傾斜掘削による地下開発であれば許可可能である旨を通知
  - ・許可が可能と要件や方法を明確化
- ⇒景観・自然環境と再エネ導入の両立

【例2】農山漁村における導入促進に係る農林地等の利用調整の円滑化

- ・食料供給・国土保全と両立する再エネ導入に係る農地法、森林法の特例、耕作放棄地の集約化、農地の換地に関する特例措置等の創設。
- ⇒農山漁村活性化と再エネ導入の両立

【例1】太陽光発電設備に求められる電気事業法上の保安規制の不要範囲を拡大

- ・500kW以上の太陽光発電設備に求められる工事計画届出や使用前安全管理検査の不要範囲を拡大
- ・使用前安全管理検査の試験方法の合理化

⇒メガソーラー導入に係るコスト低減

【例2】工場立地法上の取扱いの見直し

⇒メガソーラー導入面積の拡大

# 第三の重点 ～省エネルギーの推進

## 改革の方向性

- ・エネルギー使用量の原単位改善を中心に評価する体系の現行省エネ法について、ピーク対策の導入を検討する。
- ・蓄電池については、技術の進展の著しいリチウムイオン電池について、保安・安全規制の見直しを行う。
- ・住宅・建築物の断熱強化、関連機器の効率化、太陽光発電等の創エネの総合評価を行う省エネ基準を整備し、基準適合の段階的義務化に向けた検討を行う。
- ・熱エネルギーの有効活用のため、まちづくり政策との連携を図り、必要な規制緩和等を検討する。

## 規制・制度改革によって対応

### 需要側における電力ピーク対策

- 【例1】省エネ法における電力ピーク対策の積極評価
- 【例2】需要側の電力ピーク対策における供給側の協力  
⇒太陽光発電、コジェネ、蓄電池などの導入促進

### 省エネ規制の徹底・強化

- 【例1】住宅・建築物の省エネ基準の見直し
- 【例2】住宅・建築物の省エネ基準適合の段階的義務化  
⇒断熱強化によるエネルギー効率向上等

### 蓄電池の利用拡大

- 【例1】リチウムイオン電池の取扱い規制の見直し
- 【例2】リチウムイオン電池の非常用電源としての使用解禁  
⇒リチウムイオン電池の利用拡大

### 熱エネルギーの有効利用の促進

- 【例1】熱エネルギーの活用のための制度整備
- 【例2】地方公共団体の温暖化対策計画上の熱エネルギー導入の位置づけ強化  
⇒熱エネルギーの有効利用の促進